

FMV-BIBLO

MC/30

Windowsやアプリケーションが動作しなくなった場合に、本パソコンをご購入時の状態に戻す方法と、アプリケーションやドライバを再インストールする方法について説明しています。必要などきにお読みください。
この作業には、別売のCD-ROMドライブが必要です。

FMV-BIBLO

リカバリガイド

～パソコンをふりだしにもどす本～

B3FH-5503-01

パソコンをご**購入時**の状態に戻す

アプリケーションを再インストールする

ドライバを再インストールする



FUJITSU

リカバリとは

リカバリとは、本パソコンに添付の「リカバリ CD-ROM」を使って、ハードディスクの C ドライブをご購入時の状態に戻すことです。そのため、ご購入後に追加したアプリケーションや C ドライブに保存したデータのすべてが失われます。

なお、添付のマニュアルやアプリケーションのヘルプなどに「ふりだしにもどす本」と記載されていれば、このマニュアルのことを指しています。

Recovery : 復元・回復すること

リカバリが必要になるのは

- パソコンが正しく動作せず、回復の見込みがない場合
- C ドライブをフォーマットしてしまった場合

CD-ROM ドライブ（別売）が必要です

リカバリを実行したり、アプリケーションやドライバを再インストールするには、別売の CD-ROM ドライブを接続することが必要です。

本書の表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えらるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



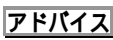

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味



で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵(左の例の場合はけが注意)が示されています。

その他の記号について

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作する前に確認していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	ご覧になっていただきたいマニュアルや、参照先を記述しています。

画面例および入力例

- 表記されている画面は一例です。画面が若干異なる場合があります。
- お客様に入力していただく文字列(コマンドライン)などは、入力例の文字上に■をかけて表しています。
- 特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。
- 入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。

dir c :

この場合は、「dir」と入力したあとに を1回押し、続けて「c:」と入力してください。

- 表示されている画面例は、1999年5月現在のものです。

製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98またはWindows
ニフティサーブでインターネット for Windows	ニフティサーブでインターネット
NIFTY MANAGER for Windows Version 5.00	ニフティマネジャー
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
AOL4.0 for Windows95/98	AOL
FMV 簡単登録 V1.1 L20	FMV 簡単登録

機種名の表記について

FMV-BIBLO MC/30 を、本パソコンと表記しています。

目次

本書の表記について
本書の構成

第 1 章 パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)

1. リカバリについて 2
リカバリとは 2
リカバリが必要になるのは 2
2. リカバリの準備をする 3
リカバリに使うもの 3
リカバリを実行する前に 3
3. リカバリに必要な設定をする 9
FMV-NCD402 の設定をする 10
その他の CD-ROM ドライブの設定をする
(FMV-NCD201、FMV-NCD401 など) 11
4. リカバリを実行する 16
「リカバリ CD-ROM」を実行する 16
5. リカバリ実行後に行うこと 21
Windows のセットアップをする 21
リカバリを行う前の状態に戻す 21

第 2 章 アプリケーションを再インストールする

1. アプリケーションを再インストールする前に 28
再インストールが必要になるのは 28
再インストールに使うもの 28
再インストールをはじめる前に 29
アプリケーションの削除方法 30
2. アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた 32
3. アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする 33
再インストール時の注意事項 33
再インストールできるアプリケーション 34
はじめよう！インターネット(InfoWeb)の再インストール 35
VirusScan の再インストール 37
Intellisync の再インストール 39
PMSet98 の再インストール 42

第 3 章 ドライバを再インストールする

1. ドライバの再インストールをする前に 46
 - 再インストールが必要になるのは 46
 - 再インストールに使うもの 46
 - 再インストール時の注意事項 46
2. ディスプレイドライバの再インストール 47
 - ディスプレイドライバを再インストールする 47
3. サウンドドライバの再インストールと設定 55
 - サウンドドライバの再インストール 55
 - 音量を調整するウィンドウの設定 58
4. タッチパネルドライバの再インストール 61
 - タッチパネルドライバの再インストール方法 61
 - キャリブレーションプログラムを再インストール 64
 - タッチパネルドライバのアンインストール方法 64
5. モデムドライバの再インストール 66

本書の構成

1章 パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)

パソコンが正しく動作せず回復の見込みがない場合などに、本パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)方法について説明しています。リカバリには、CD-ROMドライブ(別売)が必要です。

2章 アプリケーションを再インストールする

本パソコンに、ご購入時にインストールされていたアプリケーションを、改めてインストールする方法について説明しています。再インストールには、CD-ROMドライブ(別売)が必要です。

3章 ドライバを再インストールする

画面の表示がおかしくなったり、音が出なくなった場合に、ドライバをハードディスクに再インストールする方法について説明しています。ドライバの再インストールには、CD-ROMドライブ(別売)が必要です。

1

パソコンをご購入時の状態に戻す (リカバリ)

パソコンをご購入時の状態に戻す方法について説明します。ここでの作業を終了すると、パソコンはご購入時の状態になり、2章、3章の作業は必要ありません。

1. リカバリについて 2
2. リカバリの準備をする 3
3. リカバリに必要な設定をする 9
4. リカバリを実行する 16
5. リカバリ実行後に行うこと 21

1

リカバリについて

リカバリとは

リカバリとはご購入時の状態に戻すこと

リカバリとは、本パソコンのハードディスク(Cドライブ)の中身全体を、ご購入時の状態に戻すことです。

いったん、ハードディスクをフォーマットし、その後自動的にWindowsや各種ドライバ、アプリケーションがインストールされます。

本マニュアルでは、個々のアプリケーションやドライバのみをインストールすることは、「再インストール」と呼び、「リカバリ」とは区別しています。

「再インストール」については、「第2章 アプリケーションを再インストールする」(●▶P.27)と「第3章 ドライバを再インストールする」(●▶P.45)をご覧ください。

リカバリで失われるもの

- ご購入後に追加したアプリケーションとその設定情報や、Cドライブに保存したデータのすべてが失われます。
- Dドライブにインストールしているアプリケーションでも、リカバリを実行すると設定情報が失われるため、リカバリ後に使用できないことがあります。この場合、アプリケーションを再インストールしてください。

リカバリが必要になるのは

リカバリは次のときに行います。

- パソコンが正しく動作せず回復の見込みがない場合
Windowsが起動せず、回復の見込みがない場合は、リカバリを行います。
また、本パソコンのソフトウェアやハードウェアの動作が不安定であったり、異常な動作をするときに、アプリケーションやドライバを再インストールしても解決できなかった場合に、リカバリを行います。
- Cドライブをフォーマットしてしまった場合
誤ってCドライブをフォーマットした場合は、リカバリが必要になります。

2

リカバリの準備をする

リカバリに使うもの

以下のものを使用します。

- 作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」(フロッピーディスク)

重要

必ず作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用する作成していない場合は、『本体&オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー」をご覧になり作成してください。

- 「リカバリ CD-ROM 1/2、2/2」
- 『Microsoft® Windows® 98 ファーストステップガイド』
- CD-ROM ドライブ (別売)
『本体&オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」やCD-ROM ドライブのマニュアルをご覧になり、あらかじめ接続と設定を行ってください。

⚠ 注意



CD-ROM をセットおよび取り出すときには、CD-ROM トレーに指などを入れないでください。

けがの原因となることがあります。

リカバリを実行する前に

必要なデータを保存する

リカバリを行うと、ハードディスクのCドライブをフォーマットするため、Cドライブの内容がすべて消えてしまいます。以下の操作では、「FMかんたんバックアップ」を使用してデータを保存する操作について説明します。「FMかんたんバックアップ」で保存できないデータは、ファイルコピーの機能でフロッピーディスクやDドライブなどに保存してください。

1

パソコンをご購入時の状態に戻す(リカバリ)

重要

必要なデータは普段からバックアップしてください

パソコンが動作しなくなると、データのコピーができなくなります。万一の場合に備えて、必要なデータは普段から、フロッピーディスクやDドライブにコピーしておくことをお勧めします。

Dドライブの内容が失われるのは

リカバリ前にハードディスクの領域設定を変更すると、Dドライブのデータは消えてしまいます。Dドライブに必要なデータがある場合は、フロッピーディスクに保存してください。

「FM かんたんバックアップ」を使ってバックアップする

「FMかんたんバックアップ」には、データやメールファイルのバックアップファイルを作成する「FMかんたんバックアップ/データ」と、インターネットの設定情報のバックアップファイルを作成する「FMかんたんバックアップ/インターネット設定」の2つの機能があります。

重要

格納先のフォルダ名は変更しないでください

データのバックアップ後に格納先のフォルダ名を変更すると、バックアップファイルを元の場所に戻すことができなくなります。

「FM かんたんバックアップ」でバックアップできるのは

- ハードディスク（外付けのハードディスクを含む）に、バックアップファイルを作成できます。フロッピーディスクにはバックアップできません。
- ご購入時にインストールされていた、アプリケーションのデータだけバックアップできます。また、異なるバージョンのInternet Explorer/Outlook Expressの設定データは復元できません。
- ご購入時に各アプリケーションが、データの保存場所に使用していたフォルダのデータだけバックアップし、他のフォルダのデータはバックアップできません。

■ データやメールファイルをバックアップする ■

ここでは、「FM かんたんバックアップ/データ」を使って、Cドライブのデータやメールファイルを一時的にDドライブなどにコピーして、バックアップファイルを作成する方法を説明します。リカバリ後には、バックアップファイルをCドライブに、元のように戻すことができます。

- 1 起動しているアプリケーションを終了させます。
タスクバーに常駐しているアプリケーション（FM便利ツールなど）も、すべて終了させてください。

- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FMかんたんバックアップ」、「データ」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ/データ」をクリックします。
「FMかんたんバックアップ/データ」のウィンドウが表示されます。

- 3 「バックアップ」タブをクリックします。

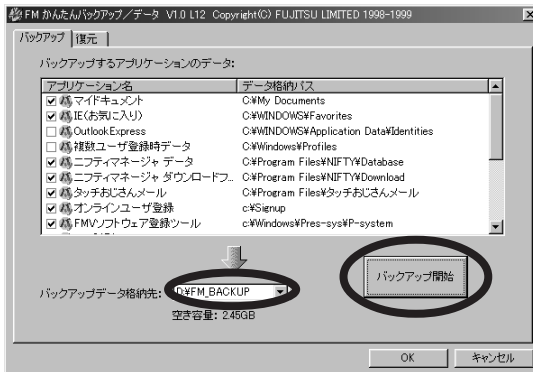
- 4 「バックアップデータ格納先」が「D:¥FM_BACKUP」になっているか確認します。

アドバイス

「バックアップデータ格納先」は

- リカバリを実行する場合は、Cドライブを選択しないでください。
- 格納先は、どのドライブでも「¥FM_BACKUP」になります。

- 5 バックアップしたいデータのあるアプリケーション名をクリックしてにし、「バックアップ開始」をクリックします。



- 6 「バックアップを続けますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
データのコピーが始まります。

重要

コピーの開始後は、「FMかんたんバックアップ/データ」ウィンドウの「復元」タブや「バックアップ」タブをクリックして表示を切り替えしないでください。表示を切り替えるとコピーが正常に行われなくなることがあります。

アドバイス

「はい」をクリックすると

以前にバックアップしたデータがある場合、そのデータは今回バックアップするデータで上書きされます。

「.....のデータ格納パスにデータが存在しません。」と表示された場合は

「OK」をクリックしてください。

「.....」はアプリケーション名です。バックアップできるのは「データ格納パス」にあるデータだけです。

7 「バックアップ処理を終了しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

8 「OK」をクリックします。

9 「設定を保存して終了します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。

このあと、バックアップファイルが正常に作成されているか、格納先を確認してください。

■ インターネットの設定情報をバックアップする ■

ここでは、「FMかんたんバックアップ/インターネット設定」を使って、以下の設定情報を一時的にDドライブなどにコピーして、バックアップファイルを作成する方法を説明します。リカバリ後には、バックアップファイルをCドライブに、元のように戻すことができます。

- Internet Explorer 関連
設定情報、お気に入りの内容
- Outlook Express 関連
設定情報、アドレス帳、TCP/IP設定、所在地情報、アクセスポイントの設定、ユーザー情報

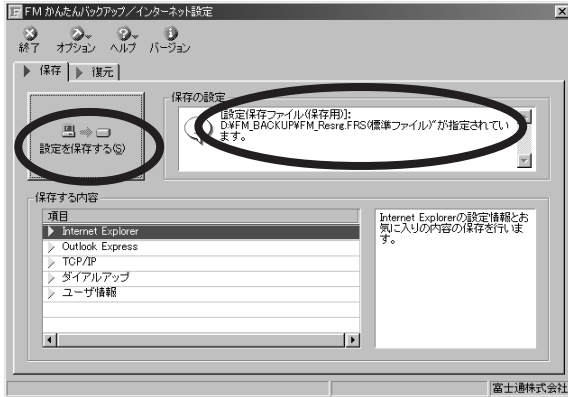
1 起動しているアプリケーションを終了させます。
タスクバーに常駐しているアプリケーション(FM便利ツールなど)もすべて終了させてください。

2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FMかんたんバックアップ」、「インターネット設定」の順にマウスポインタを合わせ、「FMかんたんバックアップ/インターネット設定」をクリックします。
「インターネット設定の留意事項」のウィンドウが表示されます。

3 内容を確認して「閉じる」をクリックします。
「インターネット設定」のウィンドウが表示されます。

4 「保存」タブをクリックします。

- 5 「保存の設定」が「D:\¥FM_BACKUP¥FM_Resrg.FRS」になっていることを確認します。
- 6 「保存する内容」で、保存する設定情報を確認し、「設定を保存する」をクリックします。



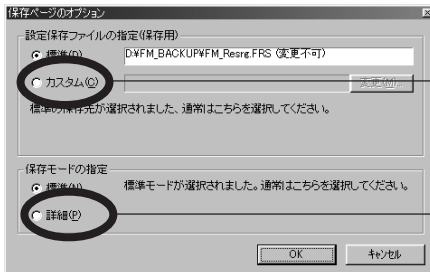
アドバイス

保存先を変更する場合は

- 保存先を変更する場合は、**設定** (オプション) をクリックし、「保存ページのオプション」をクリックし、「保存ページのオプション」のウィンドウを表示させます。「設定保存ファイルの指定」から「カスタム」をクリックし、入力欄に直接保存先を入力するか、「変更」をクリックして保存先を指定してください。
- 保存先にCドライブは選択しないでください。Cドライブを指定すると、リカバリの操作でCドライブに保存したデータは消去されます。

保存する設定情報を指定する場合は

- 保存する設定情報を指定する場合は、**設定** (オプション) をクリックし、「保存ページのオプション」をクリックし、「保存ページのオプション」のウィンドウを表示させます。「保存モードの指定」から「詳細」をクリックし、「OK」をクリックすると、「インターネット設定」ウィンドウの「保存する内容」の各項目に が表示されます。設定情報を保存しない項目は をクリックし、 にしてください。



保存先を変更するときに
クリックします。

保存内容を指定するときに
クリックします。

7 「設定保存が成功しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。

8  をクリックします。

リカバリをはじめる前に

リカバリを実行する前に、必ず以下の作業を行ってください。

■ AC アダプタを接続する ■

リカバリ作業は、通常よりも多くの電力を消費します。必ず本パソコンにACアダプタを接続した状態で行ってください。

■ 必要な設定を記録する ■

リカバリを行うと、各種アプリケーションで個人的に設定している値もすべて、設定前の状態に戻ります。

パソコン通信など、再設定が必要となるものがあれば、設定値をメモしておいてください。

■ オプション機器を取り外す ■

オプション機器が取り付けられていると、リカバリが正常に行えないことがあります。リカバリに使用するフロッピーディスクユニットとCD-ROMドライブ以外のオプション機器は、すべて取り外してください。

ハードディスクの領域を変えている場合は

リカバリを実行するには、ハードディスクの基本MS-DOS領域が、FAT32形式で900MB以上あることが必要です。ハードディスクの領域を出荷時の設定から変更していて、必要な領域が確保できない場合は、『本体 & オプションガイド』の「ハードディスクの領域を設定する」の操作で設定し直してください。

重要

Dドライブの内容が失われるのは

リカバリ前にハードディスクの領域設定を変更すると、Dドライブのデータは消えてしまいます。Dドライブに必要なデータがある場合は、フロッピーディスクに保存してください。

3

リカバリに必要な設定をする

リカバリ作業で、CD-ROMドライブを使用できるようにするために、以下の設定を行います。

■ 機種ごとに設定する内容 ■

必要な設定は、CD-ROMドライブの機種によって異なります。機種ごとの設定内容は、次のとおりです。

弊社製「FMV-NCD402」の場合（●▶ P.10）

リカバリに使用するCD-ROMドライブの機種を「FMV-NCD402」に設定します。

弊社製「FMV-NCD402」以外のCD-ROMドライブの場合（●▶ P.11）

リカバリに使用するCD-ROMドライブの機種を「CD-ROMドライブユニット（その他）」に設定します。

使用する機種のPCカードとCD-ROMドライブのドライバを、作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」にコピーします。

作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」にある「config.sys」を変更します。

■ 使うもの ■

以下のものを使用します。


- CD-ROMドライブ
- 作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」(フロッピーディスク)
作成していない場合は、『本体&オプションガイド』の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスクのコピー」をご覧になり作成してください。
- CD-ROMドライブに添付されているドライバの入ったフロッピーディスク
- Windows上またはMS-DOS上で使用できるエディターソフト（弊社製「FMV-NCD402」以外のドライブの場合）


FMV-NCD402 の設定をする

弊社製 CD-ROM ドライブ「FMV-NCD402」でリカバリできるように設定します。以下では、「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」の内容を書き換えます。必ず作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をご使用ください。

- 1 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、MAIN スイッチを ON にします。
作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、書き込みができる状態でセットしてください。

「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。

- 2  を押して「1. リカバリ環境変更」を選びます。
「リカバリ環境変更メニュー」画面が表示されます。

- 3  を押して「1. CD-ROM ドライブユニット FMV-NCD402 へ変更」を選びます。
環境設定が変更され、「A:¥>」が表示されます。

- 4 作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクユニットから取り出し、MAIN スイッチを OFF にします。
取り出したフロッピーディスクは、書き込み禁止の状態にしてください。

以上で設定作業は終了しました。

すぐにリカバリを行うときは、「リカバリを実行する」(●▶ P.16) をご覧ください。

アドバイス

設定したフロッピーディスクのコピーを作成してください

設定した作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」が壊れると、再度設定することが必要になります。設定後はコピーを作成することをお勧めします。

コピーの作成方法については、『本体 & オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー」をご覧ください。

その他のCD-ROMドライブの設定をする

「FMV-NCD201」や「FMV-NCD401」など、「FMV-NCD402」以外のCD-ROMドライブでリカバリできるように設定します。

ここではPCカードとCD-ROMドライブがセットになっている製品について説明します。以下では、「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」の内容を書き換えます。必ず作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」を使用してください。

アドバイス

SCSIカードとCD-ROMドライブを組み合わせる場合

- SCSIカードとCD-ROMドライブを組み合わせるご使用になるときは、CD-ROMドライブのドライバ以外にSCSIカードのドライバも、作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」にコピーする必要があります。
- コピーが必要なファイルの名称は、各装置に添付されているマニュアルをご覧ください。
- 作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」の「config.sys」ファイルに、コピーしたドライバの記述を盛り込んでください。詳細は、各装置に添付されているマニュアルをご覧ください。

■ ドライバのコピー ■

あらかじめCD-ROMドライブのマニュアルをご覧ください。PCカードとCD-ROMドライブのドライバ名を確認してください。

- 1 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」をセットし、MAINスイッチをONにします。

「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」は、書き込みができる状態でセットしてください。

「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。

- 2 ①を押して「1. リカバリ環境変更」を選びます。
「リカバリ環境変更メニュー」画面が表示されます。

- 3 ②を押して「2. その他のCD-ROMドライブユニットへ変更」を選びます。
環境設定が変更され、「A:¥>」が表示されます。

4 ご使用機種の PC カードのドライバをコピーします。

「A:¥>」に続けて次のように入力し **[Enter]** を押します。

```
copy b:¥xxxxxxx.xxx a:¥
```

xxxxxxx.xxx には、ご使用の機種の PC カードのドライバ名を入力します。

弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下ようになります。

```
copy b:¥aspifmgr.sys a:¥
```

弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下ようになります。

```
copy b:¥atamgr.sys a:¥
```

「copy」と「b:」の間など、文字の区切りとなるところには半角スペースを入力してください。

5 画面のメッセージに従って、フロッピーディスクを差し替えます。

「Insert diskette for drive B:.....」と表示されたら、ご使用の機種に添付されているフロッピーディスクを書き込み禁止の状態にしてセットし、**[Enter]** を押します。

「Insert diskette for drive A:.....」と表示されたら、作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、**[Enter]** を押します。

コピーが終了すると「A:¥>」が表示されます。

6 ご使用の機種の CD-ROM ドライブのドライバをコピーします。

「A:¥>」に続けて次のように入力し **[Enter]** を押します。

```
copy b:¥xxxxxxx.xxx a:¥
```

xxxxxxx.xxx には、ご使用の機種の CD-ROM ドライブのドライバ名を入力します。

弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下ようになります。

```
copy b:¥kmeacd.sys a:¥
```

弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下ようになります。

```
copy b:¥kmeatacd.sys a:¥
```

手順 5 と同様にフロッピーディスクを差し替えてください。
コピーが終了すると「A:¥>」が表示されます。

■「config.sys」ファイルの変更■

7 作業用の「リカバリCD-ROM セットアップ起動ディスク」にある「config.sys」ファイルのドライバの記述を変更します。

「config.sys」ファイルの最後の2行を書き換えます。

「DEVICE=xxxxxxx.xxx」

└─ ご使用機種のPCカードのドライバ名に変更します。

弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下ようになります。

「DEVICE=aspifmgr.sys」

弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下ようになります。

「DEVICE=ATAMGR.sys」

「DEVICE=xxxxxxx.xxx /D:OEMCD001」

└─ ご使用機種のCD-ROMドライブのドライバ名に変更します。

弊社製「FMV-NCD201」の場合は以下ようになります。

「DEVICE=kmecd.sys /D:OEMCD001」

弊社製「FMV-NCD401」の場合は以下ようになります。

「DEVICE=KMEATACD.sys /D:OEMCD001」

「/D:OEMCD001」は必ずこのとおりに半角で入力してください。

この「config.sys」ファイルの書き換えは、Windowsが起動できるかどうかに応じて、次のように行ってください。

Windowsを起動できる場合

- 作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクユニットから取り出し、**[Ctrl]**と**[Alt]**を押しながら**[Del]**を押してWindowsを起動します。
- スタートメニューのプログラムのアクセサリにある「メモ帳」などを使って、「config.sys」ファイルの記述を上記のように変更し、作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」に書き込みます。
- 変更が終了したら、次の手順8に進んでください。

Windowsを起動できない場合

- MS-DOS上で使用できるエディターソフトの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクユニットにセットし、エディターソフトを起動します。
(Windows98起動ディスクにedit.exeがあります)。
- 作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクユニットにセットし、「config.sys」ファイルの記述を上記のように変更し、作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」に書き込みます。
- 変更が終了したら、次の手順8に進んでください。

アドバイス

パラメータが必要な場合

ご使用の機種によっては、ドライバ名のあとに、働き方を指示する設定(パラメータなどと呼ばれる)が必要な場合があります。詳しくはCD-ROMドライブのマニュアルをご覧ください。

■ 設定の確認 ■

設定が完了した作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」で CD-ROM ドライブが使用できるか確認します。CD-ROM ドライブには、Z ドライブが割り当てられます。

- 8 本パソコンの MAIN スイッチを OFF にし、AC アダプタを取り外します。
- 9 CD-ROM ドライブを接続した PC カードをパソコン本体にセットします。接続については、CD-ROM ドライブのマニュアルと『本体 & オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」をご覧ください。
- 10 AC アダプタをパソコン本体に接続し、CD-ROM ドライブの電源スイッチを ON にします。
- 11 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、MAIN スイッチを ON にします。
「Windows98 リカバリメニュー」画面が表示されます。
- 12 **[5]**を押して「5. 終了」を選びます。
「A:¥>」が表示されます。
- 13 CD-ROM をセットします。
ここではセットした CD-ROM の内容が表示できるか試します。適当な CD-ROM をセットしてください。
- 14 「A:¥>」に続けて次のように入力し **[Enter]** を押します。
dir z:
CD-ROM ドライブにセットした CD-ROM の中身が表示されれば、正しく設定が行われています。
表示されないときは、以下の点を確認して設定をやり直してください。
 - 必要なドライブのファイルを正しくコピーできたか、CD-ROM ドライブのマニュアルで確認します。
 - config.sys ファイルの内容が正しく変更されているか、エディターソフトなどで確認します。
- 15 正しく設定ができていれば、作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」をフロッピーディスクユニットから取り出します。

取り出したフロッピーディスクは、書き込み禁止の状態にしてください。

- 16 CD-ROM を取り出し、MAIN スイッチを OFF にします。
- 17 CD-ROM ドライブの電源スイッチを OFF にし、PC カードを取り出します。

以上で設定作業は終了しました。

すぐにリカバリを行うときは、「リカバリを実行する」(●▶ P.16)をご覧ください。

アドバイス

設定したフロッピーディスクのコピーを作成してください

設定した作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」が壊れると、再度設定することが必要になります。設定後はコピーを作成することをお勧めします。

コピーの作成方法については、『本体 & オプションガイド』の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスクのコピー」をご覧ください。

4

リカバリを実行する

「リカバリ CD-ROM」を使って、Windows が起動できるようにします。

リカバリを実行する前に、CD-ROMドライブを使用できるようにする設定を行うことが必要です。「リカバリに必要な設定をする」(●▶ P.9)を行ってから、以下の操作を行ってください。

重要

データは保存しましたか

「リカバリ CD-ROM」を実行すると、Cドライブの内容はすべて消えてしまいます。大切なファイルなどを保存したか、再度確認してください。

「リカバリ CD-ROM」は必ず添付のものをお使いください

「リカバリ CD-ROM」は、必ず本パソコンに添付されているものを使用してください。

BIOS のパスワードは解除してください

BIOS設定でパスワードを設定しているとリカバリやBIOSの初期化が行えません。あらかじめパスワードを解除してください。

「リカバリ CD-ROM」を実行する

「リカバリ CD-ROM」を実行し、パソコンをご購入時の状態に戻します。この作業を復元ともいいます。

「リカバリ CD-ROM」の実行にかかる時間は、お使いの CD-ROM ドライブによって異なりますが、10 倍速のもので約 1 時間 30 分です。

必ず「リカバリを実行する前に」(●▶ P.3)の作業を行ってから、以下の操作を行ってください。

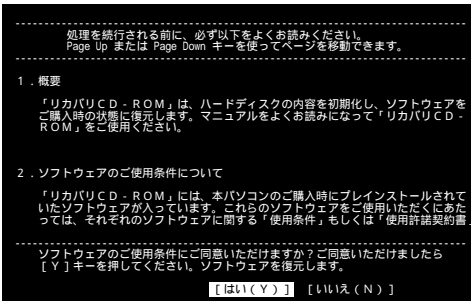
- 1 CD-ROM ドライブに接続した PC カードをパソコン本体にセットします。
CD-ROM ドライブの接続については、CD-ROM ドライブのマニュアルと『本体 & オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」をご覧ください。
- 2 フロッピーディスクユニットと AC アダプタをパソコン本体に接続します。

- 3 CD-ROMドライブの電源スイッチをONにし、「リカバリCD-ROM 1/2」をセットします。
- 4 フロッピーディスクユニットに作業用の「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」をセットし、MAINスイッチをONにします。
「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。
- 5 BIOSの設定を変更している場合は、「Windows98 リカバリメニュー」画面で、**[2]**を押して「2. BIOSの初期化」を選びます。
初期化を実行後、自動的に再起動し、「Windows98 リカバリメニュー」が表示されます。
- 6 「Windows98 リカバリメニュー」画面で、**[3]**を押して「3. リカバリCD-ROMの実行」を選びます。
「リカバリCD-ROMセットアップ起動ディスク」の目次画面が表示されます。
- 7 **[PgUp]** **[PgDn]** か **[↑]** **[↓]**を押して「ソフトウェアのご使用条件について」をよくお読みください。
- 8 内容に同意していただければ **[Y]** **[N]**を押して、「はい」を選びます。

重要

ソフトウェアのご使用条件について


それぞれのソフトウェアのご使用条件に同意していただけない場合は、パソコンの電源を切ってください。この場合、ハードディスクの内容は復元されません。



9

[Enter] を押します。

ハードディスクをフォーマットするかどうかを確認する画面が表示されます。



注意！ドライブC: の
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
フォーマットしますか (Y/N) ?

確認

フォーマットする前に、再度確認してください

手順 10 で **[Y]** を押すと、ハードディスクの C ドライブの内容はすべて消えてしまいます。大切なファイルなどを保存したか、確認してください。保存していない場合、**[N]** を押すと、リカバリの作業を中断することができます。

アドバイス

エラーメッセージが表示された場合は

「ソフトウェアの復元が中止されました。」と表示された場合は、以下のように対処してください。

- オプション機器を取り付けていた場合
フロッピーディスクユニットと CD-ROM ドライブ以外のオプション機器は、すべて取り外してください。
- ハードディスクの領域を変更していた場合
「ハードディスクの領域を変えている場合は」(●▶ P.8) をご覧ください。
このあと、手順 1 (●▶ P.16) から操作し直してください。
- ハードディスクが破壊されている場合
Save To Disk 領域や基本 MS-DOS 領域の設定が必要です。
『本体 & オプションガイド』の「ハードディスクの領域を設定する」の操作を行ってください。

- 10 を押し、 (Enter) を押します。
ハードディスク (Cドライブ) のフォーマットが始まります。
数分してフォーマットが終了すると、ボリュームラベルを入力する画面が表示されます。

```

注意！ドライブCの、
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
フォーマットしますか (Y/N)? y

現在の不良クラスタを記録しています。
完了。
フォーマットしています。 80000000 Mバイト
フォーマットは完了しました。
ファイルアロケーションテーブルに書き込み中です。
完了。
空き領域を計算しています (数分かかる可能性があります)...
完了。

ボリュームラベルを入力してください。
半角で11文字、全角で5文字以内
必要なければ、Enter キーを押してください：

```

- 11 何も入力せずに、 (Enter) を押します。



ボリュームラベルについて

正常に復元されなくなりますので、ボリュームラベルは入力しないでください。

「リカバリ CD-ROM 1/2」のセットを求めるメッセージが表示されます。

```

CD-ROMドライブに「リカバリCD-ROM 1/2」をセットし、
しばらくしたら「Y」キーを押してください。
中断するなら「N」キーを押してください。

```

- 12 を押します。
リカバリの作業が開始されます。

```

<File>C:\WIO.SYS
<File>C:\VBOOTLOG.TXT
<File>C:\%COMMAND.COM
<File>C:\%AUTOEXEC.BAT
<File>C:\%CONFIG.SYS
<File>C:\%PIPOST.BAT
<File>C:\%PRCLEAN.EXE
<File>C:\%LOGO.SYS
<Dir>C:\%PISETUP
<Dir>C:\%WINDOWS

```

「リカバリ CD-ROM 2/2」のセットを求めるメッセージが表示されます。

- 13 「リカバリ CD-ROM 2/2」をセットし、**[Y]**を押します。
1時間から1時間30分経つと、作業が終了し、「正常にソフト ウェアの復元作業が行われました。」というメッセージが表示されます。

重要

メッセージが表示されない場合

次のことを確認してください。

- ①が点灯している場合
画面のバックライトが消えて、節電状態になっています。次のどれかのキーを押してください。

[Shift]、**[←]** **[→]** **[↑]** **[↓]**

- ①が点滅している場合
サスペンド機能が働いて一時停止状態になっています。
SUS/RES スイッチを押してください。

それでも解決しない場合は、オプション機器が取り付けられたままになっていないか確認し、手順1(●▶ P.16)からやり直してください。

- 14 「リカバリ CD-ROM 2/2」を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 15 パソコン本体から、CD-ROM ドライブに接続している PC カードを取り外します。
- 16 作業用の「リカバリ CD-ROM セットアップ起動ディスク」を、フロッピーディスクユニットから取り出します。
- 17 **[Ctrl]** と **[Alt]** を押しながら、**[Del]** を押します。
パソコンが再起動されます。

パソコンを再起動すると、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように Windows のセットアップが始まります。

5

リカバリ実行後に行うこと

Windowsのセットアップを行い、リカバリを行う前の、使用していた状態に戻す作業をします。

Windows のセットアップをする

Windowsのセットアップを行います。セットアップの最後で、必ず「Windows98へようこそ」ウィンドウの「はじめよう！ FMV」をクリックしてください。

操作手順は、『本体&オプションガイド』の「第1章 最初に行う作業」をご覧ください。

リカバリを行う前の状態に戻す

リカバリを行う前の、それまで使用していた状態に戻すための作業を行います。

保存したデータがある場合

■「FM かんたんバックアップ / データ」の保存データを元に戻す■

「データやメールファイルをバックアップする」(●▶ P.4)で作成したバックアップファイルを、元の場所に戻す方法を説明します。

この操作でインターネット設定の情報も復元することができます。

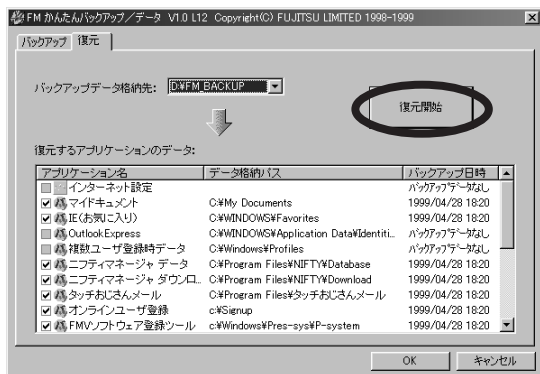
1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」,「FMかんたんバックアップ」,「データ」の順にマウスポインタを合わせ、「FM かんたんバックアップ / データ」をクリックします。

「FM かんたんバックアップ / データ」のウィンドウが表示されます。

2 「復元」タブをクリックします。

3 「バックアップデータ格納先」が正しいか確認します。

- 4 元に戻すデータのあるアプリケーション名がになっているか確認し、「復元開始」をクリックします。



アドバイス

復元されるデータは

- 標準の設定では、今回バックアップしていたデータだけ復元されます。
- 「バックアップ日時」の欄に日時のあるものは、アプリケーション名をクリックしてにすると、復元することができます。

- 5 「復元を続けますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
データのコピーが始まります。

重要

コピーの開始後は、「FMかんたんバックアップ/データ」ウィンドウの「バックアップ」タブや「復元」タブをクリックして表示を切り替えしないでください。表示を切り替えるとコピーが正常に行われないことがあります。

アドバイス

「はい」をクリックすると

すでに復元を行って、対象のドライブやフォルダにデータがコピーされている場合は、今回の復元でコピーするデータによって書きかえられます。

- 6 「復元処理を終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。

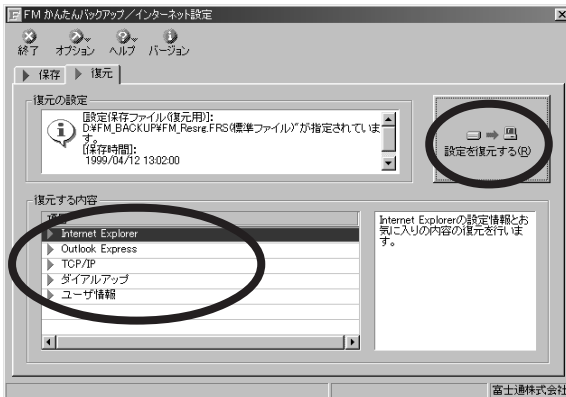
アドバイス**データが復元されなかったときは**

- バックアップファイルが、正常に作成されているか確認してください。
- 「バックアップデータ格納先」が正しいか確認してください。

■「FM かんたんバックアップ/インターネット設定」の保存データを元に戻す■


ここでは、「インターネットの設定情報をバックアップする」(●▶ P.6)で作成したバックアップファイルを、元の場所に戻す方法を説明します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」, 「FMかんたんバックアップ」, 「インターネット設定」の順にマウスポインタを合わせ、「FM かんたんバックアップ/インターネット設定」をクリックします。
「インターネット設定の留意事項」のウィンドウが表示されます。
- 2 内容を確認して「閉じる」をクリックします。
「インターネット設定」のウィンドウが表示されます。
- 3 「復元」タブをクリックします。
- 4 「保存されている項目を表示します。」というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
「復元する内容」に復元できる項目が表示されます。
- 5 「復元する内容」で、復元する設定情報を確認し、「設定を復元する」をクリックします。




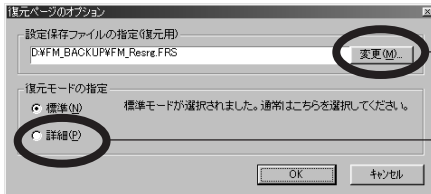
アドバイス

復元する設定情報の保存先を変更する場合

- 復元する設定情報の保存先を変更する場合は、 (オプション) をクリックし、「復元ページのオプション」をクリックし、「復元ページのオプション」のウィンドウを表示させます。
「設定保存ファイルの指定」で、「変更」をクリックして保存先を指定してください。

復元する設定情報を指定する場合は

- 復元する設定情報を指定する場合は、 (オプション) をクリックし、「復元ページのオプション」をクリックし、「復元ページのオプション」のウィンドウを表示させます。
「復元モードの指定」から「詳細」をクリックし、「OK」をクリックすると、「インターネット設定」ウィンドウの「復元する内容」の各項目に が表示されます。設定情報を復元しない項目は をクリックし、 にしてください。



設定情報の保存先を変更する
場合にクリックします。

復元する設定情報を指定する
場合にクリックします。

- 6 「設定の復元が終了しました。」とメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。復元の操作を終了し、本パソコンが再起動されます。

■ その他のデータを元に戻す ■

「FMかんたんバックアップ」以外の方法で、アプリケーションのデータなどのバックアップファイルを作成した場合は、それらをCドライブのリカバリ前と同じフォルダにコピーします。

データファイルには、リカバリ前と同じフォルダにコピーしないと正常に機能しないものもありますので、ご注意ください。

本パソコンに後から追加して使っていたアプリケーションのデータは、そのアプリケーションのインストールが済んでから、元のフォルダにコピーしてください。

使用状態を元に戻す

■ パソコン通信を利用していた方は ■

パソコン通信を利用していた方は、接続の設定を行ってください。

■ PC カードやオプション機器を増設していた方は ■

リカバリを行うためにオプション機器を取り外していただければ、機器に添付のマニュアルまたは『本体&オプションガイド』の「第3章 オプション機器を使う」をご覧ください。

■ 市販のアプリケーションを使っていた方は ■

お客様がご購入し、インストールしていたアプリケーションは、再インストールする必要があります。

インストール方法はそのアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。

2

アプリケーションを再インストールする

ご購入時にインストールされていたアプリケーションを、ハードディスクに再インストールする方法について説明します。

「リカバリを実行する」(●▶ P.16)を行った場合は、アプリケーションはすべてインストールされています。再インストールする必要はありません。

1. アプリケーションを再インストールする前に 28
2. アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた 32
3. アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする 33

1

アプリケーションを再インストールする前に

アプリケーションを再インストールするために、注意しなければならないことがいくつかあります。途中でインストールが中止されたり、インストール後に起動できなくなる場合がありますので必ずお読みください。

再インストールが必要になるのは

次のような場合、アプリケーションの再インストールが必要になります。

■ 削除したアプリケーションをまた使いたい場合 ■

ご購入時にインストールされていたアプリケーションは、お使いの状況に合わせて、何度でも削除したり、再インストールしたりして使うことができます。いったん削除したアプリケーションを、またご使用になるときは、アプリケーションを再インストールします。ただし、前回ご使用時のデータや設定は、アプリケーションを削除したときに消去されている場合がありますのでご注意ください。

■ アプリケーションの動きがおかしい場合 ■

アプリケーションを使っていると、原因はわからないが動きがおかしい、ということがまれにあります。そういう場合は、アプリケーションをいったん削除し、再インストールしてください。再インストールによって解決する場合があります。

再インストールに使うもの

以下のものを使用します。

- アプリケーション CD(添付)
- CD-ROM ドライブ(別売)

『本体&オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」や CD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください。あらかじめ接続と設定を行ってください。

注意

けが CD-ROM をセットおよび取り出すときには、CD-ROM トレーに指などを入れな
いでください。



けがの原因となることがあります。

再インストールをはじめる前に

■ 必要なデータや設定は保存する ■

アプリケーションの再インストールを行うと、お客様ご自身で作られたデータが消えてしまうことがよくあります。必要なデータは、再インストールを行う前に、フロッピーディスクなどに保存してください。

なお、アプリケーションによっては作成したデータだけでなく、パソコン通信のIDや通信設定、接続先など、アプリケーション上の個人的な設定内容も消えてしまいますので、必要と思われる情報はメモしておくことをお勧めします。

■ ハードディスクの空き容量を確認する ■

事前にハードディスクに十分な空き容量があることを確認してからインストールを行ってください。容量不足でインストールが途中で中止された場合、次にインストールするときエラーメッセージが表示されることがあります。

■ ハードディスク内の古いデータを削除する ■

アプリケーションの再インストールを始める前に、ハードディスク内に残っているアプリケーション関連のデータを削除することをお勧めします。

上書きでインストールしようとする時「上書きしてよろしいですか」などのメッセージが表示されることがあります。また、アプリケーションのいくつかは古いデータが残っているとインストールが中止される場合があります。

本章では、ハードディスク内に古いデータが残っていない場合のインストール手順を基本としています。

■ 起動中のアプリケーションやウィンドウを終了する ■

他のアプリケーションが起動している状態でインストールすると、インストールが正常に終了しない場合があります。起動しているアプリケーションや開いているウィンドウはすべて終了してください。VirusScanなど、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションも、終了させてください。

また、スクリーンセーバーを設定している場合は、「なし」に設定してから、インストールを始めてください。

2

アプリケーションを再インストールする

アプリケーションの削除方法

アプリケーションには、インストールするときに自動的にシステムの設定を変更するものがあり、単にプログラムのファイルを削除するだけでは、インストール前の状態に戻らないことがあります。

システムの設定などもインストール前の状態に戻すには、以下の方法でアプリケーションを削除してください。

重要

データの保存について

アプリケーションを削除したとき、お客様が作成したファイルや設定した環境などのうち、そのアプリケーションに関連したものが消えてしまうことがあります。アプリケーションを削除する前に、必要なファイルをDドライブやフロッピーディスクなどにバックアップしておくことをお勧めします。

■ アンインストール機能を使う ■

アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合は、アンインストール機能を使用して削除します。

詳しくは、各アプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

■ 「アプリケーションの追加と削除」を使う ■

アンインストール機能がないアプリケーションは、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」を使用して削除します。

操作方法は次のとおりです。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 削除するアプリケーションを一覧の中からクリックします。

アドバイス

一覧に表示されないアプリケーションについて

一覧に表示されていないアプリケーションは、この方法で削除することはできません。それぞれのアプリケーションのマニュアルやヘルプをご覧ください。

4 「追加と削除」をクリックします。

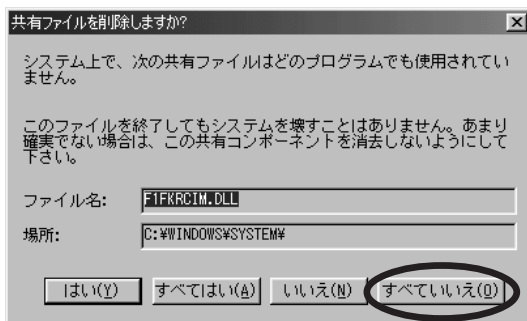
このあとは画面に表示されるメッセージに従って操作してください。選択したアプリケーションが削除されます。

重要

共有ファイルについて

ファイルを削除している途中で、共有ファイルを削除するか確認するメッセージが表示される場合があります。

削除すると、他のアプリケーションが正しく動作しなくなる可能性があるため、共有ファイルは削除しないでください。



2

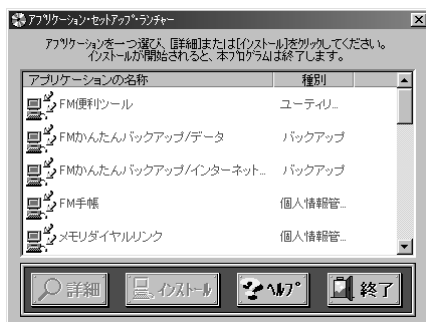
アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた

ご購入時にインストールされているアプリケーションは、アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して再インストールします。

ここでは、アプリケーション・セットアップ・ランチャーの操作方法を説明します。

- 1 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
「ファイル名を指定して実行」ウィンドウが表示されます。
- 3 「名前」の右の欄に `e:¥aplsetup.exe` と入力し、「OK」をクリックします。
「e:」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。E 以外のドライブ名が割り当てられている場合は、該当するドライブ名を入力してください。

「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」ウィンドウが表示されます。



- 4 「アプリケーションの名称」欄から、再インストールするアプリケーションの名称をクリックします。
- 5 「インストール」をクリックします。
アプリケーションのインストールが始まります。

以降の操作は、画面のメッセージに従って行ってください。

3

アプリケーション・セットアップ・ランチャーで再インストールする

再インストール時の注意事項

正常にインストールを行うために、以下の点に注意してください。

■「バージョンの競合」が表示されたら■

インストール中に、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。「はい」をクリックし、現在のファイルをそのまま使用してください。

■セットアップ画面のまま操作できない場合は■

インストール中に、セットアップ画面でインストールとは関係のないウィンドウが表示され、操作できなくなる場合があります。その場合、**[Alt]**を押しながら**[Tab]**を押し、セットアップ画面(「セットアップが完了しました。」などの画面)を前面に表示させてください。

■インストールは中断しないでください■

ファイルのコピー中に「キャンセル」などをクリックすると、一部のファイルだけがコピーされて、アプリケーションが使えないという場合があります。ファイルのコピー中は、中断しないことをお勧めします。

■ショートカットが無効になる場合■

インストールするフォルダを従来のフォルダから変更すると、これまで使用していたショートカットで、そのアプリケーションが起動できなくなります。この場合は以下のようにショートカットを変更してください。

ショートカットを右クリックして、メニューの「プロパティ」をクリックしプロパティウィンドウを開きます。

「ショートカット」タブをクリックし、「リンク先」に変更後のフォルダ名を含んだファイル名(ドライブ名とルートフォルダからの経路を示したファイル名)を「」でくくって入力し、「OK」をクリックします。

■インストール後に行うことが必要な操作■

アプリケーションをインストールした後は、Windows98のライブラリをアップデートする操作を行ってください。

操作方法については『情報生活術入門』の「インストール後に行うことが必要な操作」をご覧ください。

2

再インストールできるアプリケーション

アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して、再インストールできるアプリケーションは次のとおりです。アプリケーション・セットアップ・ランチャーの操作方法については、「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」（●▶P.32）をご覧ください。

インストール中に、インストールの方法についてのウィンドウが表示された場合は、以下の「留意事項」欄をご覧くださいになり、それぞれの操作を行ってください。

特に説明のない画面では「次へ」をクリックし、最後に「終了」や「完了」、「OK」をクリックしてください。

アプリケーションの名称	留意事項
FM 便利ツール	画面の表示にしたがってください。
FM 手帳	画面の表示にしたがってください。
メモリダイヤルリンク	画面の表示にしたがってください。
はじめよう!インターネット (InfoWeb)	P.35 をご覧ください。
AOL	<ul style="list-style-type: none"> 再起動後、デスクトップとタスクバーの2カ所に貼り付けられている「AOL4.0で簡単インターネット!」のショートカットアイコンにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから「削除」を選びます。また、タスクトレイにある「AOL4.0で簡単インターネット!」のショートカットアイコンにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから「終了」を選び、起動時の表示確認が表示されたら「いいえ」をクリックします。
10円メールマスター	画面の表示にしたがってください。
タッチおじさんメール	画面の表示にしたがってください。
ニフティサーブでインターネット (はじめよう!ニフティサーブ)	<ul style="list-style-type: none"> 「製品ライセンス契約」ウィンドウでは「はい」をクリックします。
ニフティマネジャー	<ul style="list-style-type: none"> 「NIFTY MANAGER 利用規約」ウィンドウで「はい」をクリックします。
駅すばあと	画面の表示にしたがってください。
サンリオアクセサリー	<ul style="list-style-type: none"> インストールを完了後、アナログ時計を表示するには、次の操作にしたがってください。 <ol style="list-style-type: none"> 「スタートメニュー」から「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」から「プロパティ」を選びます。 プロパティウィンドウの作業フォルダに「C:\¥ Program Files ¥ sanrioac ¥ アナログ時計」を入力し、「OK」をクリックします。 「スタートメニュー」から「サンリオアクセサリー」、「アナログ時計」を選び、表示されたアナログ時計をデスクトップ上にドラッグします。



アプリケーションの名称	留意事項
hatch Inside	• 「ハッチインサイド使用許諾契約」ウィンドウで、「同意する」をクリックします。
Intellisync	P.39 をご覧ください。
VirusScan	P.37 をご覧ください。
FM かんたんバックアップ/データ	画面の表示にしたがってください。
FM かんたんバックアップ/インターネット設定	画面の表示にしたがってください。
FM Advisor	画面の表示にしたがってください。
FMV 診断	画面の表示にしたがってください。
省電力管理ユーティリティ (PMSet98)	P.42 をご覧ください。
便利帳	画面の表示にしたがってください。
壁紙データ	画面の表示にしたがってください。

はじめよう！インターネット(InfoWeb)の再インストール

再インストールを始める前に次の2点を確認してください。

■「ダイヤルアップネットワーク」のインストール■

次の手順で、「ダイヤルアップネットワーク」がインストールされていることを確認してください。ご購入時やりかバリ作業後はインストールされています。

- 1 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「Windows ファイル」タブをクリックします。
- 2 「通信」をクリックし、「詳細」をクリックします。「ダイヤルアップネットワーク」がになっていることを確認します。になっている場合は、をクリックし、にします。
- 3 「OK」をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 4 「OK」をクリックします。
このあとは、メッセージに従って操作します。

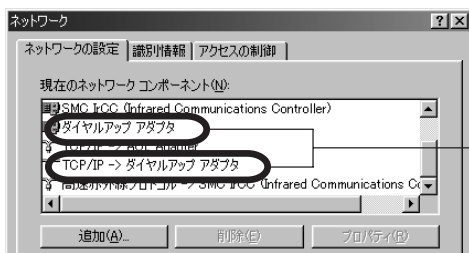
■ ネットワークの設定 ■

次の手順で、ネットワークの設定を確認してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

- 2  (ネットワーク)をクリックします。

- 3 「現在のネットワークコンポーネント」に「ダイヤルアップアダプタ」と「TCP/IP -> ダイヤルアップ アダプタ」が表示されていることを確認します。



ご購入時には、この2つが設定されています。この2つ以外のネットワーク構成ファイルが表示されていても問題ありません。

- 4 2つとも表示されている場合は、「キャンセル」をクリックし、続けて「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」を再インストールします。正しく設定されていない場合は、手順5に進みます。

- 5 「追加」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの選択」ウィンドウが表示されます。

- 6 「インストールするネットワークコンポーネント」から「アダプタ」をクリックし、「追加」をクリックします。
「ネットワークアダプタの選択」ウィンドウが表示されます。

- 7 「製造元」から「Microsoft」, 「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」をそれぞれクリックし、「OK」をクリックします。
「ネットワーク」ウィンドウに戻ります。

アドバイス

ご購入時にない設定が追加された場合は

ご購入時には設定されていない「NetWareネットワーククライアント」, 「IPX/SPX 互換プロトコル」が追加される場合があります。ご使用にならない場合は、次のようにして削除してください。

- 1 「NetWare ネットワーククライアント」をクリックし、「削除」をクリックします。
- 2 「IPX/SPX 互換プロトコル」をクリックし、「削除」をクリックします。


- 8 「OK」をクリックします。
ファイルがコピーされます。
「バージョンの競合」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

- 9 「はい」をクリックします。

■ はじめよう！インターネット(InfoWeb)の再インストール ■

- アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して再インストールを行います。
操作方法については、「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」(●▶ P.32)をご覧ください。
- 表示されるメッセージに従ってインストールしてください。

VirusScan の再インストール

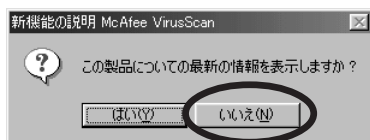
- 1 「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」を起動します。
起動方法については「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」(●▶ P.32)をご覧ください。
「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの名称」の「VirusScan」をクリックし、「インストール」をクリックします。
「セットアップへようこそ」のウィンドウが表示されます。
- 3 「次へ」をクリックします。
「Network Associates ソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。
- 5 「標準」が  になっていることを確認して、「次へ」をクリックします。
「インストール設定の確認」ウィンドウが表示されます。

6 インストール時の設定内容を確認して「次へ」をクリックします。
ファイルのコピーが始まり、続いてメモリのウイルス検査が行われます。
終了すると「システム領域のスキャンが完了しました。...」というメッセージが表示され
ます。

7 「OK」をクリックします。
「エマージェンシーディスクウィザード」ウィンドウが表示されます。

8 「キャンセル」をクリックします。
エマージェンシーディスクは、インストールがすべて終了してから作成してください。

9 「いいえ」をクリックします。



「変更事項」ウィンドウが表示されます。

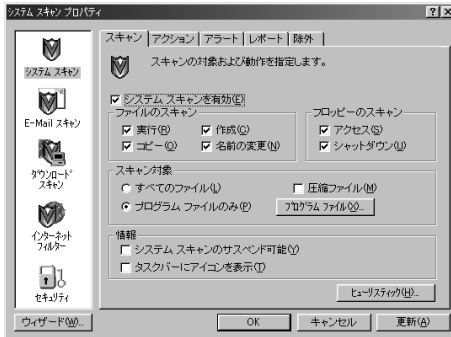
10 「次へ」をクリックします。
「インストールが完了しました。」というウィンドウが表示されます。

11 「はい、直ちに...」が☑になっていることを確認して「終了」をクリックしま
す。
本パソコンが再起動します。

12 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「McAfee VirusScan」の
順にマウスポインタを合わせ、「McAfee VirusScan セントラル」をクリッ
クします。
「VirusScan」の起動画面が表示されます。

13 「VShield」ボタンをクリックします。
「システム スキャン プロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 14 一番下の「システムスキャンのサスペンド可能」と「タスクバーにアイコンを表示」をクリックし にします。



- 15 ウィンドウ左側の (ダウンロードスキャン) をクリックし、「インターネットダウンロードスキャンを有効にする」をクリックして にします。

- 16 ウィンドウ左側の (インターネットフィルター) をクリックし、「Java と ActiveX フィルタを有効」をクリックして にします。

- 17 「OK」をクリックします。
「VirusScan」の起動画面に戻ります。

- 18 をクリックします。

Intellisync の再インストール

- 「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」を起動します。
起動方法については「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」(P.32)をご覧ください。
「アプリケーション・セットアップ・ランチャー」ウィンドウが表示されます。
- 「アプリケーションの名称」の「Intellisync」をクリックし、「インストール」をクリックします。
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「次へ」をクリックします。
「製品ライセンス契約」ウィンドウが表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。
- 5 それぞれの欄に以下のように入力し、「次へ」をクリックします。
「名前」..... FMV-USER
「会社名」..... FM-USER
「シリアル番号」..... FUJ007



「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

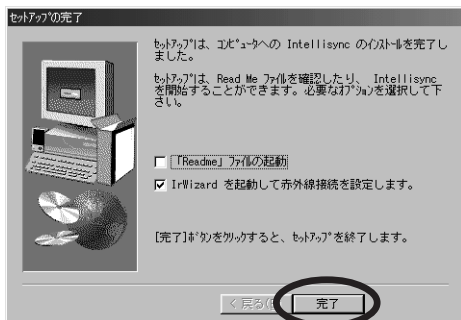
- 6 インストール先が「C:\Program Files\Intellisync」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- 7 「プログラムフォルダ」が「Intellisync」になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
ファイルのコピーが始まります。
インストールが正しく終了すると、「質問」ウィンドウが表示されます。

- 8 「いいえ」をクリックします。
「はい」をクリックすると、Windows が起動するたびに、Intellisync が起動されタスクバーに Intellisync のアイコンが表示されます。



しばらくすると、「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

- 9 「「Readme」ファイルの起動」が 、「IrWizard を起動して...」が になっていることを確認して「完了」をクリックします。



「赤外線の設定」ウィンドウが表示されます。

- 10 各項目の設定内容を確認します。



- 11 「現在のデバイス」が選択された状態（押されている状態）で「次へ」をクリックし、一覧から「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」をクリックして、「次へ」をクリックします。

「現在のデバイス」に「Fujitsu FMV BIBLO FastIR1」が表示されます。

- 12 IrComm ポートの設定画面では一覧の「None」をクリックして、「次へ」をクリックします。

- 13 IrLPT ポートの設定画面では一覧の「None」をクリックして、「次へ」をクリックします。

「赤外線の設定」ウィンドウに設定した内容が表示されます。

- 14 「完了」をクリックします。

「IR セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 15 「OK」をクリックします。
セットアップが終了します。
赤外線での通信を行う場合は、本パソコンを再起動してください。

PMSet98 の再インストール

- アプリケーション・セットアップ・ランチャーを使用して再インストールを行います。
操作方法については、「アプリケーション・セットアップ・ランチャーの使いかた」(●▶ P.32)をご覧ください。「アプリケーションの名称」欄では、「省電力管理ユーティリティ」を選択します。
- 「...インストールを完了しました」のウィンドウでは、「ソフトウェア説明書を今すぐ読みます」と「PMSet98 を今すぐ起動します」の両方をクリックして にし、「終了」をクリックします。
ソフトウェア説明書はあとから読むことができます。
- インストールが終了したら、Windows の設定を確認します。

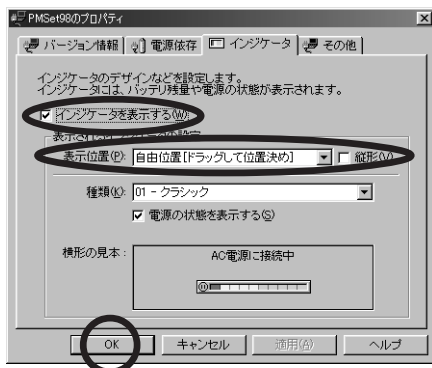
- 1 「コントロールパネル」の「電源の管理」をクリックします。
「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 「詳細」タブをクリックし、「電源メーターをタスク バーに表示する」が になっていることを確認し、「OK」をクリックします。



- 3 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」, 「PMSet98」の順にマウスポインタを合わせ、「1.PMSet98」をクリックします。
PMSet98 が起動します。

- 4 タスクバーにある①を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「PMSet98のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 5 「インジケータ」タブをクリックし、「インジケータを表示する」がになっていることを確認します。
- 6 「表示位置」の▼をクリックして、「自由位置 [ドラッグして位置決め]」をクリックし、「OK」をクリックします。



- 7 インジケータをドラッグして、好きな位置に移動させます。

3

ドライバを再インストールする

ドライバはハードウェアを動かすために必要です。ここでは、ドライバを再インストールする方法について説明します。

「リカバリを実行する」(●▶ P.16)を行った場合は、ドライバはすべてインストールされています。再インストールする必要はありません。

1. ドライバの再インストールをする前に 46
2. ディスプレイドライバの再インストール 47
3. サウンドドライバの再インストールと設定 55
4. タッチパネルドライバの再インストール 61
5. モデムドライバの再インストール 66

1

ドライバの再インストールをする前に

ドライバを再インストールするために、注意しなければならないことを説明します。

再インストールが必要になるのは

ディスプレイドライバやサウンドドライバは、ゲームなどのインストールによって、破損したり書き替えられてしまうことがあります。画面が正しく表示されない場合はディスプレイドライバを再インストールし、音が正しく出ない場合はサウンドドライバを再インストールしてください。

タッチパネルドライバとモデムドライバは、本パソコンのご使用状況によって、タッチパネルやモデムの機能に不具合が生じた場合に、再インストールを行います。

再インストールに使うもの

- CD-ROM ドライブ(別売)とアプリケーション CD(添付)
『本体&オプションガイド』の「CD-ROM ドライブを使う」やCD-ROM ドライブのマニュアルをご覧ください、あらかじめ接続と設定を行っておいてください。

注意



けが CD-ROM をセットおよび取り出すときには、CD-ROM トレーに指などを入れな
いでください。

けがの原因となることがあります。

再インストール時の注意事項

正常にインストールを行うために、以下の点に注意してください。

■ 起動中のアプリケーションやウィンドウを終了する ■

「ようこそ」ウィンドウやフォルダウィンドウなど、開いているウィンドウや、起動しているアプリケーションをすべて終了させてください。VirusScan など、タスクバーに常駐するタイプのアプリケーションも終了させてください。

また、操作中、何度もパソコンが再起動されるので、スタートアップに登録されているアプリケーションは、そのつど終了させる必要があります。

■ 「バージョンの競合」ウィンドウが表示されたら ■

インストール中に、「バージョンの競合」ウィンドウが表示される場合があります。その場合は、アプリケーション CD に入っているファイルを使用してください。

2

ディスプレイドライバの再インストール

ここでは、ディスプレイドライバのインストール方法について説明します。お使いの状況に合わせ、正しくインストールを行ってください。

必ず、「ドライバの再インストールをする前に」(▶▶ P.46)をご覧ください。以下の操作を行ってください。

- Windows が起動しない場合は、手順 1 から行ってください。
- Windows が起動している場合は、手順 21 (▶▶ P.50) から行ってください。

ディスプレイドライバを再インストールする

電源を入れても Windows が起動しない場合、Safe モードで Windows をいったん起動します。

アドバイス

Safe モードとは

Windows を必要最低限の状態ですべて起動する方法です。画面の表示に問題が起きた場合などに、一時的に使用します。

ディスプレイドライバの再インストールはクイックポイント で操作

以下の操作をタッチパネルで行うと、タッチした位置とマウスポインタの位置がずれてしまいます。ディスプレイドライバの再インストールは、クイックポイント で行ってください。

Safe モードでの起動

- 1 キーボードの **[Ctrl]** の位置を確認します。
- 2 パソコン本体の電源を入れます。
- 3 「FUJITSU」のロゴマークが表示されたら **[Ctrl]** を押し続けます。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。




アドバイス

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されないとき

[Ctrl] を押すタイミングが合わなかったことが考えられます。本パソコンを再起動して、手順 3 からやり直してください。

3

ドライバを再インストールする

- 4   を押して、「3. Safe mode」を反転表示させ、 を押します。
Safe モードで Windows が起動し、Safe モードの説明が表示されます。

アドバイス

Safe モードで起動しなかったとき

手順 4 で「3. Safe mode」を選択しないまま 30 秒以上経過すると、Safe モードで起動することができません。Safe モードで起動できなかったときは、本パソコンを再起動して、手順 3 からやり直してください。

キーボードタイプのメッセージが表示されたら

画面のメッセージにしたがって  を押します。


エラーメッセージについて

Windows が起動してから、いろいろなエラーメッセージが表示される場合があります。すべて「OK」をクリックしてください。

- 5 「デスクトップ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

ディスプレイアダプタを Super VGA に設定


- 6 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 7  (画面) をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 8 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
「(不明なデバイス)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 9 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」をクリックします。
「デバイス ドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 10 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」というウィンドウが表示されます。

- 11 「特定の場所にあるすべての...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。

- 12 一覧から「ディスプレイアダプタ」を選び、「次へ」をクリックします。

- 13 「製造元」の「(標準ディスプレイ)」をクリックして、「モデル」の「Super VGA」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順 15へ進んでください。
- 14 「はい」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というウィンドウが表示されます。
- 15 「次へ」をクリックします。
「ハードウェア デバイス用に選択したドライバがインストールされました。」というウィンドウが表示されます。
- 16 「完了」をクリックします。
「(不明なデバイス)のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 17 「閉じる」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 18 「閉じる」をクリックします。
「続行しますか？」というメッセージが表示されます。
- 19 「はい」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。
- 20 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

重要



メッセージが表示されたとき

再起動後に「ディスプレイ設定に問題があります。」というメッセージが表示されたときは、「OK」をクリックし、「画面のプロパティ」ウィンドウの「設定」タブで「色」を「16色」に設定します。「OK」をクリックして本パソコンを再起動してください。

ハードウェアウィザードが始まるメッセージが表示されたとき

ドライバを削除したり、間違ったドライバをインストールしたりすると、「OK」をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

NeoMagic MagicGraph 128XD のインストール

- 21 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブにセットします。
- 22 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 23  (画面)をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 24 「設定」タブをクリックし、「詳細」をクリックします。
- 25 「アダプタ」タブをクリックし、「変更」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 26 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」というウィンドウが表示されます。
- 27 「特定の場所にあるすべての...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。
「モデル」の一覧が表示されます。
- 28 「ディスク使用」をクリックします。
「ディスクからインストール」ウィンドウが表示されます。
- 29 「配布ファイルのコピー元」の下の欄に `e:\¥neo128xd` と入力し、「OK」をクリックします。(CD-ROM ドライブが E のとき)
- 30 「NeoMagic MagicGraph 128XD」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。
「ドライバの更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順 32へ進んでください。
- 31 「はい」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウに戻ります。

- 32 「次へ」をクリックします。
ファイルがコピーされます。
コピーが終わると、「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウに戻ります。

- 33 「完了」をクリックします。

モニタをラップトップディスプレイパネル(800 x 600)に設定

- 34 「モニタ」タブをクリックし、「ラップトップディスプレイパネル(800 x 600)」と表示されているか確認します。
表示されているときは、手順 51へ進んでください。
表示されていないときは、手順 43へ進んでください。
「モニタ」タブがないときは、手順 35へ進んでください。

- 35 「OK」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。


アドバイス

「続行しますか?」というメッセージが表示されたとき
「はい」をクリックしてください。

- 36 「閉じる」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

- 37 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
再起動されない場合は、「スタート」メニューから「Windowsの終了」を実行し、パソコンを再起動してください。

- 38 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 39  (画面) をクリックします。

- 40 「設定」タブをクリックし、「ラップトップディスプレイパネル(800 x 600) - NeoMagic MagicGraph 128XD」と表示されているか確認します。
表示されているときは、「キャンセル」をクリックし手順 54へ進んでください。
表示されていないときは、手順 41へ進んでください。

41 「詳細」をクリックします。


42 「モニタ」タブをクリックします。


43 「変更」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

アドバイス

「デバイスの選択」ウィンドウが表示されたとき
「製造元」の「(標準モニタの種類)」をクリックして、「モデル」の「ラップトップディスプレイパネル(800×600)」をクリックし、「OK」をクリックします。続いて手順51へ進んでください。

44 「次へ」をクリックします。

45 「特定の場所にあるすべての…」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。

46 「すべてのハードウェアを表示」をクリックして  にします。

47 「製造元」の「(標準モニタの種類)」をクリックして、「モデル」の「ラップトップディスプレイパネル(800×600)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ドライバ更新の警告」ウィンドウが表示されます。表示されないときは、手順49へ進んでください。

48 「はい」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というウィンドウが表示されます。

49 「次へ」をクリックします。
「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました。」というウィンドウが表示されます。

50 「完了」をクリックします。

51 「閉じる」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

アドバイス

「続行しますか?」というメッセージが表示されたとき

「はい」をクリックしてください。

「リフレッシュレート」ウィンドウが表示されたとき



「OK」をクリックしてください。続いて、「この設定を保存しますか?」というメッセージが表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

「コンピュータを再起動すると...」というメッセージが表示されたとき

「OK」をクリックしてください。


- 52 「閉じる」か「OK」をクリックします。
「今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。
表示されないときは、「スタート」メニューから「Windowsの終了」を実行し、パソコンを再起動します。再起動後、手順 54へ進んでください。
- 53 「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
再起動されない場合は、「スタート」メニューから「Windowsの終了」を実行し、パソコンを再起動してください。

デバイスマネージャでの確認と修正

- 54 「アプリケーション CD」を CD-ROM ドライブから取り出します。
- 55 「コントロールパネル」ウィンドウの  (システム) をクリックします。
- 56 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 57 「種類別に表示」が  になっていることを確認します。
- 58 「ディスプレイアダプタ」の「Super VGA」に「!」が表示されているときは、「Super VGA」をクリックし、「削除」をクリックします。
「デバイス削除の確認」ウィンドウが表示されます。
表示されていないときは「OK」をクリックし、ディスプレイドライバの再インストールを終了します。
- 59 「OK」をクリックします。

60 「閉じる」をクリックします。

61 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。

62 「再起動する」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。


お使いの状況に合わせて、画面の解像度と発色数を変更してください。
変更方法については、『本体 & オプションガイド』の「画面の解像度と発色数を変更する」をご覧ください。
ご購入時は解像度が 800 × 600 ドット、発色数が True Color (24 ビット) に設定されています。

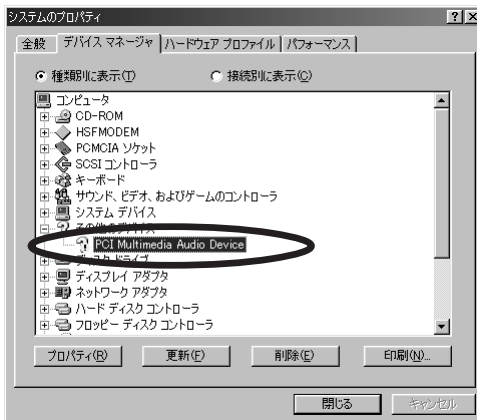
3

サウンドドライバの再インストールと設定

本パソコンで音声を扱えるようにするためのドライバを再インストールします。必ず、「ドライバの再インストールをする前に」(▶▶ P.46) をご覧になってから、以下の操作を行ってください。


サウンドドライバの再インストール

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2  (システム) をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「その他のデバイスのコントローラ」をダブルクリックします。



ドライバの一覧が表示されます。すでに表示されている場合は、ダブルクリックは必要ありません。

- 4 「PCI MultiMedia Audio Device」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
「PCI MultiMedia Audio Device のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

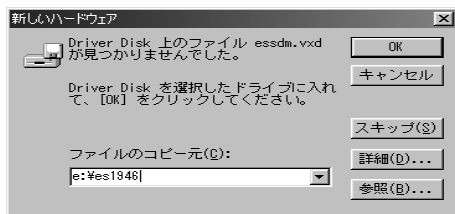
- 5 「ドライバ」タブをクリックします。
- 6 右下にある「ドライバの更新」をクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 7 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください。」の画面が表示されます。
- 8 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。





「下の一覧から...」のウィンドウが表示されます。

- 9 一覧の「サウンド、ビデオおよび...」をクリックして、「次へ」をクリックします。
- 10 右下にある「ディスク使用」をクリックします。
- 11 「配布ファイルのコピー元:」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

e:\es1946



「デバイスの選択」のウィンドウが表示されます。

- 12 「すべてのデバイスを表示」をクリックしてにし、「ESS SOLO-1.PCI AudioDriver」をクリックして反転させます。
- 13 「OK」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というメッセージが表示されます。
表示されているドライバ名が「ESS SOLO-1 PCI AudioDriver」であることを確認します。
- 14 「次へ」をクリックします。
「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました」というメッセージが表示されます。
- 15 「完了」をクリックします。
- 16 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 17 「再起動する」をクリックしてにし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動されます。
再起動後、次項の「音量を調整するウィンドウの設定」を行ってください。

音量を調整するウィンドウの設定

ここでは、音量を調整するためのウィンドウの設定を行います。

以下の操作では、音量を調整するためのウィンドウに不必要な項目をいったん表示して、ミュートに設定します。

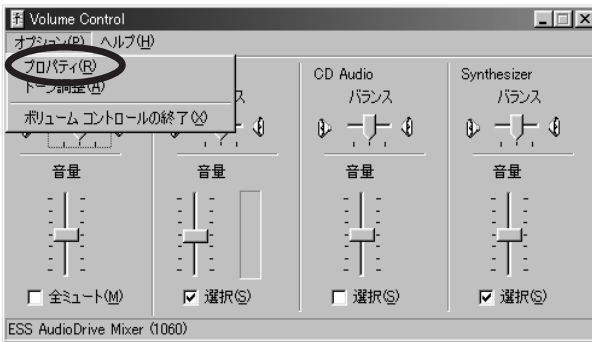
次に、各設定に必要な項目を表示し、初期値を設定します。

ボリュームコントロールの設定

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」,「アクセサリ」,「エンターテインメント」の順にマウスポインタを合わせ、「ボリュームコントロール」をクリックします。

「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。

- 2 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。



「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「音量の調整」の「再生」がになっていることを確認します。



- 4 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
 - Line-In
 - Microphone
 - PC Speaker
 - AuxB
 - IIS
- 5 「Volume Control」ウィンドウで「AuxB」の「選択」はに、他のすべての項目の「選択」をにします。
- 6 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 7 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
 - Volume Control
 - Wave
 - CD Audio
 - Synthesizer
- 8 「Volume Control」ウィンドウの「全ミュート」は、「Wave」、「Synthesizer」の「選択」は、「CD Audio」の「選択」はになっていることを確認します。

録音コントロールの設定

- 9 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 10 「音量の調整」の「録音」をクリックしてにします。
- 11 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
 - Line-In
 - Wave
 - AuxB
- 12 「Recording Control」ウィンドウですべての項目の「選択」をにします。
- 13 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 14 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
- Recording Control
 - Microphone
 - CD Audio
 - Synthesizer
- 15 「Microphone」の「選択」はにします。
- 16 「Recording Control」ウィンドウの右上の (閉じるボタン)をクリックします。

その他の設定

- 17 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 18 「音量の調整」の「その他」をクリックしてにします。
- 19 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
- Line-In
 - Wave
 - AuxB
- 20 「Voice Commands」ウィンドウですべての項目の「選択」をにします。
- 21 「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 22 「表示するコントロール」の以下の項目だけをにし、それ以外はすべてにし、「OK」をクリックします。
- Voice Commands
 - Microphone
 - CD Audio
- 23 「Microphone」の「選択」はに、「CD Audio」の「選択」はにします。
- 24 「Voice Commands」ウィンドウの右上の (閉じるボタン)をクリックします。




4

タッチパネルドライバの再インストール

インテリマウスなど、ドライバの添付されたポインティングデバイスを使用する場合は、いったんタッチパネルドライバをアンインストールしてから、それらのドライバをインストールする必要があります。この場合、タッチパネルは利用できなくなります。また、インテリマウスなどのご利用を止めて、タッチパネルを使用する場合は、タッチパネルドライバを再インストールする必要があります。

タッチパネルドライバの再インストール方法

タッチパネルドライバを再インストールした後は、キャリブレーションプログラムを再インストールし、タッチ位置の調整を行ってください。

- 1 CD-ROM ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットします。
- 2 アプリケーションやウィンドウをすべて終了します。
「Windows98 へようこそ」ウィンドウを閉じ、タスクトレイに表示されている常駐ソフト（FM 便利ツール、VirusScan、PMSet98 など）も、すべて終了させます。
- 3 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 4 （システム）をクリックします。
- 5 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 6 「種類別に表示」が  になっていることを確認し、「マウス」の左の  をクリックします。

3


ドライバを再インストールする

- 7 表示された PS/2 のドライバ名をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



- 8 「ドライバ」のタブをクリックし、右下の「ドライバの更新」をクリックします。「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 9 「次へ」をクリックします。「検索方法を選択してください。」の画面が表示されます。

- 10 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し...」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。



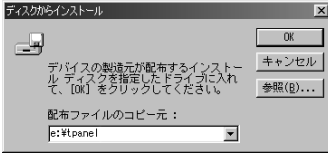
「ハードウェアの製造元とモデルを...」のウィンドウが表示されます。

- 11 右下にある「ディスク使用」をクリックします。

- 12 「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

e:\tpanel

「e」の部分は、CD-ROMドライブの実際のドライブ名に合わせて変更してください。



- 13 「次へ」をクリックします。
「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というメッセージが表示されます。
「ドライブ更新の警告」が表示された場合は「はい」をクリックします。

- 14 「次へ」をクリックします。
「ハードウェアデバイス用に選択したドライバがインストールされました」というメッセージが表示されます。



- 15 「完了」をクリックします。
「システム設定の変更」のウィンドウが表示されます。

- 16 「はい」をクリックします。
しばらくして本パソコンが再起動します。


アドバイス

ドライバの確認方法

ドライバの更新が正しくできたか、次のようにして確認します。


- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (システム) をクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 4 「マウス」の左の  をクリックします。
- 5 「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 6 「ドライバ」のタブをクリックします。
日付が "3-31-1999" となっていることを確認します。

キャリブレーションプログラムを再インストール

- 1 CD-ROM ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「名前」の欄に「e:¥tpanel¥inst」と入力して「OK」をクリックします。
フォルダの作成とファイルのコピーが行われます。
作業中に「ディレクトリは既に存在します」と表示されることがありますが問題ありません。
- 4  をクリックします。
- 5 タッチパネルの調整を行います。
タッチパネル上のタッチした位置とマウスポインタの位置のずれを修正します。
『本体&オプションガイド』の「タッチパネルの調整のしかた」をご覧ください。

タッチパネルドライバのアンインストール方法

ここでは、インテリマウスなどのドライバをインストールするときに、あらかじめタッチパネルドライバをアンインストールする方法について説明します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2  (アプリケーションの追加と削除) をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。



「Confirm File Deletion」ウィンドウが表示されます。

4 「はい」をクリックします。 「Fujitsu Touch Panel (PS/2)」が削除されます。

5 「OK」をクリックします。 「コントロールパネル」ウィンドウが上に表示されて操作しにくいときは、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じてください。 「OK」をクリックすると「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが閉じます。


6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。 「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。

7 「再起動する」をクリックして にし、「OK」をクリックします。

5

モデムドライバの再インストール



モデムドライバに不具合が生じた場合は、以下のように再インストールを行います。

- 1 アプリケーションやウィンドウをすべて終了します。
「Windows98 へようこそ」ウィンドウを閉じ、タスクトレイに表示されている常駐ソフト（FM 便利ツール、VirusScan、PMSet98 など）も、すべて終了させます。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 （アプリケーションの追加と削除）をクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J + SOFT PDC」をクリックし、「追加と削除」をクリックします。



「Confirm File Deletion」ウィンドウが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。
「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J + SOFT PDC」が削除されます。

- 6 「OK」をクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが上に表示されて操作しにくいときは、「コントロールパネル」ウィンドウを閉じてください。
「OK」をクリックすると「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが閉じます。
- 7 「スタート」ボタンをクリックし、「Windows の終了」をクリックします。
「Windows の終了」ウィンドウが表示されます。
- 8 「再起動する」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動中に、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 9 「次へ」をクリックします。
「検索方法を選択してください」というウィンドウが表示されます。
- 10 「使用中のデバイスに最適な...」が  になっていることを確認し、「次へ」をクリックします。
「新しいドライバは、ハードドライブの...」というウィンドウが表示されます。
- 11 「フロッピーディスクドライブ」をクリックして にし、「CD-ROM ドライブ」と「検索場所の指定」をクリックして にした後、入力欄に e:\modempdc と入力して、「次へ」をクリックします。
「e」の部分は、CD-ROM ドライブの実際のドライブ名に合わせて変更してください。




「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。」というウィンドウが表示されます。

12 「次へ」をクリックします。
ファイルのコピーが終了すると、「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」というウィンドウが表示されます。

13 「完了」をクリックします。
更新が終わったら、以下のように確認と設定を行ってください。


アドバイス

正しく更新されたか確認するには

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (モデム) をクリックし、「検出結果」タブをクリックします。
- 3 「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」のあるポートをクリックし、「詳細情報」をクリックしてバージョン番号を確認します。
「ATI3」コマンドの欄が「SoftK56V_B2.1_V2.023」になっていることを確認します。
- 4 「OK」をクリックし、「Fujitsu SOFT PDC」のあるポートをクリックし、「詳細情報」をクリックしてバージョン番号を確認します。
「ATI3」コマンドの欄が「Verl.05-DC96RM」になっていることを確認します。

再インストール後にモデムの設定が必要です

モデムドライバを再インストールしたら、次のようにモデムの設定を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」ウィンドウの  (モデム) をクリックします。
- 2 「モデムのプロパティ」ウィンドウで一覧の「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」のプロパティ」ウィンドウの「接続」タブをクリックします。
- 4 「接続オプション」の欄の「トーン待ってからダイヤルする」をクリックして にし、「OK」をクリックします。
- 5 「モデムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

MEMO

A series of 28 horizontal dotted lines for writing.

Microsoft、Windows、Windows NT、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

InfoWeb は、富士通株式会社の商標です。

NeoMagic MagicGraph 128XD は、NeoMagic™ Corporation の商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 1999

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

FMV-BIBLO リカバリガイド

B3FH-5503-01-00

発行日 1999年5月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

©9905-01

リカバリガイド

FMV-BIBLO



FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。



T4988618872980